

お茶刈りと田植えが仕事納めなり農一筋の義兄は逝きたり

鈴木京子

【評】 人生の仕事納めも「お茶刈りと田植え」だったという義理のお兄様を詠んだ

一首。農一筋に生きた義兄への敬意が伝わる挽歌です。これまでの生涯で、義理のお兄様はどれほどの量のお茶を刈り、何本もの稲を植え続けたことでしょう。

静岡市にはこんな「農一筋」に生きたかたがたくさんいらっしゃるのだと思います。義理のお兄様の御冥福を謹んでお祈り申し上げます。